

「JUIDA SCHOOL AWARDS2025」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） D アカデミー関東 本部

・タイトル

日本初 国家資格 固定翼機二等取得講習

・応募内容要旨

日本初 固定翼機の国家資格が取得できる講習を始めた（NK 出張方式）

・アピールポイント

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

1. 独自性：日本初で固定翼機の経験無しでも国家資格に合格できる仕組みを構築した。
2. 先進性：オリジナルのトレーニングプロボや飛行軌跡をリアルに表示することで修正やコース確認が出来る。
3. 創意工夫：実機訓練と自宅でのシミュレーターによる復習にて短時間で上達出来る。
4. 受講者視点：手ぶらで講習や修了審査が受けられる。（機体その他全てをご用意）
5. 安全教育の視点：飛行コースは全て専用フィールド内で墜落しても敷地内である又機体は発砲スチロール製で軽くて壊れることで被害を軽減できる。

国家資格 固定翼機 取得講習



依田健一（62歳）

Dアカデミー株式会社代表・Dアカデミーアライアンス代表
前職 生コンクリート製造販売

小学校3年からRC飛行機を始めラジコン歴53年
第30・35回RC航空ペイジェントにて展示飛行
2023年無人航空機マルチ等基本・昼間目視限定変更取得



Dアカデミーアライアンス



Dアカデミーアライアンスは
情報を共有し、
講師の相互協力を行いながら、
技術の向上を図っています。



岩本一樹 (50+歳) Santa Claus 代表



情報処理業

大手企業向けエンタープライズシステムから金融、医療、防衛までシステム構築現場でPM・SE・コンサルティングに従事

企業向けITエンジニア養成研修講師

空撮業務

VTOL機 研究・開発

NK受験対策ドローン個人レッスン

神奈川在住

1972年6月7日生
アメリカの田舎大学卒

好きな言葉

1教えるならその背後にある10の知識を持って

趣味

車いじり、L型エンジンなら目視外で組める

ひとこと

インプラントは出来な
いが俺に任せろ！

- ✓ 2023年無人航空機マルチ等 基本・昼間・目視・25kg限定変更取得
- ✓ 2025年無人航空機固定翼2等 基本取得

固定翼機の国家資格取得についての必要性

- 固定翼機の特徴とは？VTOL機とは？
- 日本の物流はVTOL機が最適な理由は？
- VTOL機に必要な無人航空機技能証明は？
- この資格を取得される方とは？
- 一発試験での取得なの？スクール（講習機関）はあるの？
- 難しいの？



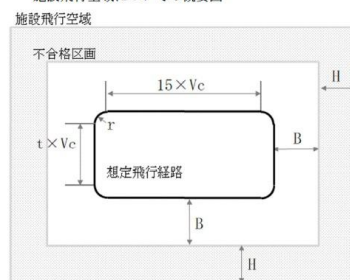
NK に提出しなければならない資料

- 機体のスペック
- 試験会場の広さ
- 滑走路の長さ
- 立ち入り管理措置等



2-3 平均転がり摩擦係数 μ は、実技試験に用いる無人航空機及び滑走路の状態により、受験者の判断で設定を行うこととする。

- 施設飛行空域についての概要図



V_c : 機体の推定巡航速度(単位 m/s)。

t : 短辺方向の直線飛行時間(単位 s)。(0 ≤ t ≤ 5)

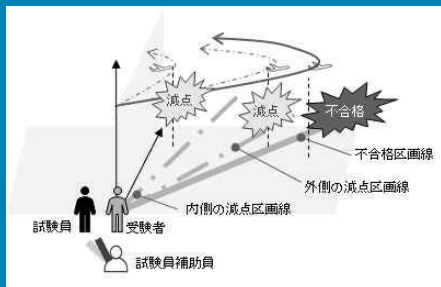
r : 機体の旋回半径(単位 m)。重力加速度を g (単位 m/s²)、機体のバンク角度を θ (単位 °)とし、 $r = \frac{V_c^2}{g \times \tan \theta}$ の計算式により算出する。

B : $B = \frac{(V_c + 15)^2}{g \times \tan \theta} - r = \frac{(V_c + 15)^2 - V_c^2}{g \times \tan \theta}$ の計算式により算出する。

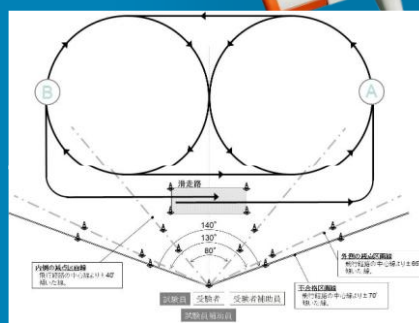
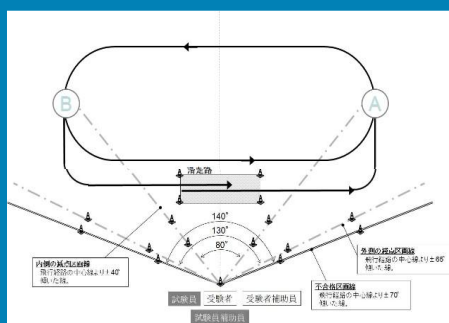
H : 30(単位 m)

全てDアカデミーで解決し提出不要！

試験内容も難解で自力では理解が難しい



実飛行を繰り返し、矛盾点や、不明点を見つけ出し、時間をかけてNKに問い合わせクリアする。また実試験を受けないとわからないことも多々ある。

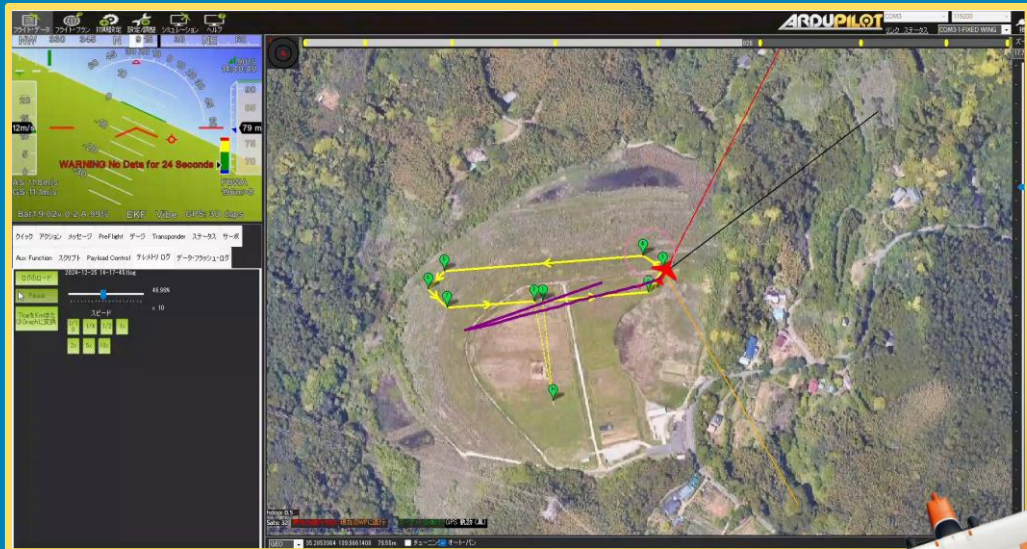


トレーニングの取り組みご紹介

- 操縦以外の飛行に関わる知識の定着
- 言語化による指導及び、操作の言語化
- シミュレーターによる基礎の定着
- 自動飛行による飛行軌道の確認
- マニューバリング伝達装置による操舵感の明確化
- フライトコントローラーの機能を使った低負荷操作
- 地上局情報やログ検証による操縦結果の見える化
- 試験対策指導



自動飛行による飛行軌道の確認



トレーニングプロポによる直接的な指導



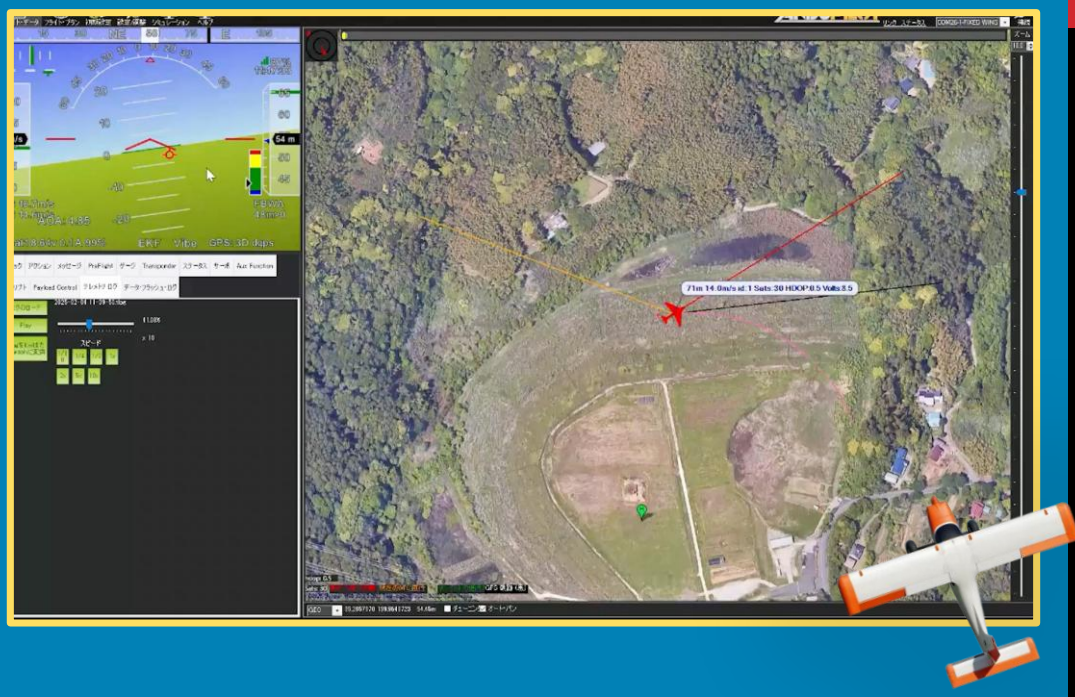
実用新案申請中



フライトコントローラーの機能を使った低負荷操作



地上局情報やログ検証による操縦結果の見える化



- ・ 操縦以外の飛行に関わる知識の定着
- ・ 言語化による指導及び、操作の言語化
- ・ シミュレーターによる基礎の定着
- ・ 自動飛行による飛行軌道の確認
- ・ マニューバリング伝達装置による操舵感の明確化
- ・ フライトコントローラーの機能を使った低負荷操作
- ・ 地上局情報やログ検証による操縦結果の見える化
- ・ 試験対策指導



この講習の優位性とは

- どこよりも早く取得可能（NKによる出張審査）
- 難しい書類審査不要（代理申請）
- 機体審査に合格した機体で練習・審査が受講できる
- 最先端技術を駆使してレベルの高い訓練ができる
- 首都圏から近く設備の整った専用フィールドが利用できる

